

ポーレン米国グロース株式ファンド(予想分配金提示型)
愛称：ベストフォーカス(予想分配金提示型)

追加型投信／海外／株式
信託期間：2021年12月1日 から 2031年3月20日 まで
基準日：2026年6月30日
決算日：毎月21日(休業日の場合翌営業日)
回次コード：3465

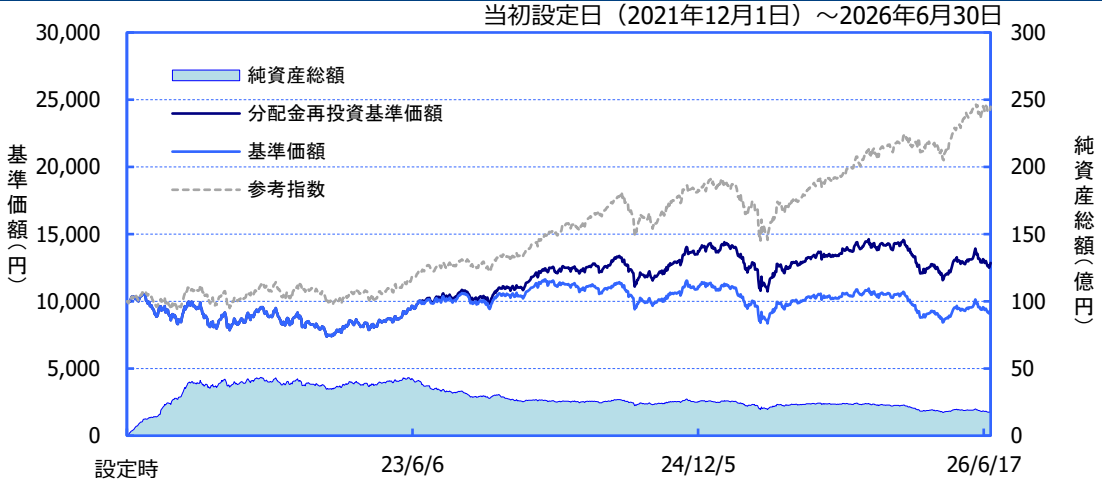
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《基準価額・純資産の推移》

2026年6月30日現在

基準価額	9,360 円
純資産総額	17億円

期間別騰落率		
期間	ファンド	参考指数
1か月間	-3.9 %	+0.3 %
3か月間	+10.4 %	+19.4 %
6か月間	-10.3 %	+12.2 %
1年間	-0.7 %	+36.3 %
3年間	+26.9 %	+95.0 %
5年間	-----	-----
10年間	-----	-----
設定来	+28.7 %	+144.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※参考指数はS&P500指数(税引後配当込み、円ベース)です。運用成績と比較するベンチマークではありません。
※グラフ上の参考指数はグラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～42期	合計：2,700円
第43期 (25/07)	100円
第44期 (25/08)	100円
第45期 (25/09)	100円
第46期 (25/10)	100円
第47期 (25/11)	100円
第48期 (25/12)	100円
第49期 (26/01)	100円
第50期 (26/02)	0円
第51期 (26/03)	0円
第52期 (26/04)	0円
第53期 (26/05)	0円
第54期 (26/06)	0円
分配金合計額	設定来：3,400円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド		合計99.6%
運用会社名	ファンド名	比率
ノーザン・トラスト・グローバル・インベ ストメンツ	アンカー・ポーレン米国株式ファンド(為替ヘッジ なし)	99.6%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0%

*ファンド名は略称です。ファンドの詳細については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

※比率はマザーファンドの純資産総額に対するものです。

資産別構成			合計100.0%		株式等 業種別構成		合計99.5%		株式等 国・地域別構成		合計99.5%	
資産名	銘柄数	比率			業種名	比率			国・地域名	比率		
外国株式等	26	99.5%			情報技術	41.1%			アメリカ	99.5%		
現金、その他	-	0.5%			金融	14.3%						
					ヘルスケア	12.2%						
					一般消費財・サービス	12.0%						
					資本財・サービス	8.9%						
					コミュニケーション・サービス	8.5%						
					不動産	2.6%						
株式等 通貨別構成			合計99.5%									
通貨名		比率										
米ドル		99.5%										

組入上位10銘柄					合計61.9%	
銘柄名	国・地域名	業種名	銘柄概要		比率	
イーライリリー・アンド・カンパニー	アメリカ	ヘルスケア	世界で初めてインスリン製剤の大量生産を実現した、世界的な製薬会社。近年は肥満症治療薬の分野で高い存在感を示している。		7.6%	
エヌビディア	アメリカ	情報技術	半導体大手。AI(人工知能)の計算処理に使用されるGPU(グラフィックス・プロセッシング・ユニット)分野で圧倒的なシェアを誇り、今後のAIやデータセンターの需要拡大を背景に高い成長が期待される。		7.0%	
マイクロソフト	アメリカ	情報技術	世界最大級のソフトウェア企業。Windowsの圧倒的な顧客基盤をベースに、クラウドサービスやゲームなど新たな収益源の拡大が見込める。		6.9%	
アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルを傘下に持つデジタル広告プラットフォーム企業。検索エンジン、インターネット広告、Webページのアクセス解析ツール、独自のOSを搭載したスマートフォンやスマートスピーカーなど、さまざまなWebサービスを提供する。		6.7%	
ブロードコム	アメリカ	情報技術	半導体設計とソフトウェア開発を両輪とする世界最大級のテクノロジー企業。主要ハイテク企業向けに独自のカスタムIC(半導体集積回路)の共同開発サービスを提供しており、今後の需要拡大が期待される。		6.7%	
アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	ネット通販世界大手。多岐にわたる商品を販売するサイトや、大規模な流通拠点を世界各地で運営する。会員サービス「アマゾンプライム」や世界最大級のクラウドサービスも展開する。		6.0%	
ビザ	アメリカ	金融	グローバル決済テクノロジー企業。小売り電子決済ネットワークの運営、国際的な金融サービスを提供。世界最大規模の決済ネットワークとブランド力を持つ。		5.5%	
マスターカード	アメリカ	金融	グローバル決済テクノロジー企業。世界第2位の決済ネットワークを基盤に、非接触決済など新たなサービスを柔軟に打ち出している。		5.2%	
オラクル	アメリカ	情報技術	データベースを始めとする企業の情報管理用ソフトウェアを開発・提供する。近年は独自のクラウド・サービスの需要が堅調で、利益成長が加速すると予想。		5.1%	
サービスナウ	アメリカ	情報技術	企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を支援する世界的ソフトウェア企業。パッケージ化されたコンピューターソフトウェア、クラウドサービス、ITサービス管理プラットフォームの設計、開発、製造を手掛ける。		5.1%	

※比率の合計が四捨五入の関係で一致しない場合があります。
 ※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc. が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)の産業分類によるものです。
 ※外国株式の国・地域名については、原則としてBloombergが定義するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。
 ※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

【投資環境】

米国株式市場

米国株は下落しました。月前半は、堅調な雇用統計を背景とした米金利の上昇や中東情勢の不透明感に加え、米スペースXのIPO（新規株式公開）を前にした既存AI（人工知能）関連株の換金売りとみられる動きもあり、軟調に推移しました。月半ばには、米国・イランの停戦を巡る暫定合意の表明を受けたリスクオンムードの高まりから上昇しましたが、月末にかけては半導体関連株やマグニフィセント7の一角が日替わりで売られる展開となり弱含みました。

為替市場

為替市場では、円安・米ドル高となりました。原油価格の下落が米ドル売り・円買いにつながる場面もありましたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測やスペースXの上場に伴う米ドル買い圧力が強く見受けられました。もっとも、日本の円買い介入に対する警戒が円の大幅な下落を抑制しました。

【ファンドの運用状況】

ファンドのパフォーマンスについては、米ドルが対円で上昇したことはプラス寄与した一方、保有銘柄の株価下落がマイナス寄与し、基準価額は下落しました。

株式部分で主にプラス寄与したのは、ラムリサーチでした。当月は、AI関連需要の拡大を背景に、同社の半導体製造装置の需要拡大期待が高まり、株価は上昇しました。一方、主にマイナス寄与したのは、オラクルでした。当月は、2026年3-5月期決算において、AI・クラウド関連需要への対応に伴う設備投資の拡大が示され、同社の将来の投資回収や資金負担に対する懸念が高まったことなどから、株価は下落しました。足元では、AI・クラウド需要を背景に同社の事業環境は良好とみられる一方、設備投資負担の増加に対する市場の関心は高く、ポーレン社では今後の投資の進捗や収益化の動向を注視しています。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

【今後の見通し・運用方針】

ポーレン社は米国での30年以上にわたる運用経験から、マクロ経済動向や政治情勢など外的要因により株価は短期的に変動する可能性があるものの、長期的な株価に関しては、企業の利益成長が大きく影響すると考えています。足元の市場では、各社のAI向け設備投資が急増していることに対して懸念も見られますが、ポーレン社では、AI需要の力強い拡大とその長期的な成長余地を背景に、この投資サイクルは今後も継続すると見えています。また、AIによるソフトウェア企業への影響についても引き続き注視が必要とみていますが、顧客業務に不可欠でビジネスモデルが強固な企業と、サービスが単機能で差別化の弱い企業とでは影響は異なると考えています。足元のソフトウェア株の下落はこうした違いを十分に反映しておらず、質の高い企業は過度に売られていると評価しています。

当ファンドでは、生成AIやデータセンターといった単一テーマに依存せず、幅広いセクター・企業に投資を分散させることで、市場環境の変化に左右されにくいバランスの取れたポートフォリオ運用を行っています。銘柄選択にあたっては、引き続き「稼ぎ続けるチカラ」を有する企業への厳選投資を行う方針です。

当ファンドは、「稼ぎ続けるチカラ」が長期的な株価上昇をけん引する、との投資哲学に基づき、短期的な株価変動に惑わされず、長期的に利益成長の持続が見込まれる数少ない銘柄への集中投資を続ける方針です。銘柄選択プロセスでは、ポーレン社独自の投資基準である「5つの鉄則」を厳格に適用することで調査対象を絞り込み、調査リソースを集中投下することで一つ一つの企業を徹底的にリサーチし、利益成長の持続性に高い確信が持てる銘柄のみを厳選し投資を行っています。

そうした銘柄は、高い競争優位性、堅固な財務基盤、実績のある経営陣を有し、優れた運用リターンを生み出すだけでなく、経営の安定性が高いため市場の下落局面で下値抵抗力を示すことで運用資産の保全にも寄与すると考えられます。また、「稼ぎ続けるチカラ」が生み出す長期の複利効果（リターンがさらなるリターンを生む好循環）を享受することが可能となり、長期投資が実践できるものと考えています。

*5つの鉄則

- 【鉄則1】ROE（自己資本利益率）が十分高い水準にあるか
- 【鉄則2】無借金かそれに近い経営をしている企業
- 【鉄則3】利益が安定もしくは増加しているか
- 【鉄則4】潤沢なキャッシュフローがあるか
- 【鉄則5】オーガニックに（自社資源により）成長している企業

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

S&P500(「当インデックス」)はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P®、S&P 500®, US 500, The 500, iBoxx®, iTraxx®およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社(「S&P」)の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- ・米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式等の中から、厳選投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- ・米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式等に投資します。
- ・株式等の運用は、ポーレン・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シーが担当します。
- ・毎月 21 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

価格変動リスク・信用リスク 株価の変動	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。 発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。 当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
価格変動リスク・信用リスク リートの価格変動	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

投資者が直接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.155% (税抜1.05%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.325%
	販売会社	年率0.7%
	受託会社	年率0.025%
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)	年率0.7425% (税抜0.675%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用 (目論見書作成時点)	年率1.8975% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

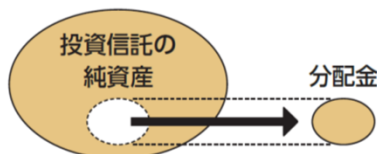
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所の休業日 ② ニューヨーク証券取引所の休業日（土曜日、日曜日および委託会社の休業日を除きます。）の前営業日 ③ ①②のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付を中止すること、すでに受付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	● 主要投資対象とするアンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 12 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

《収益分配金に関する留意事項》

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

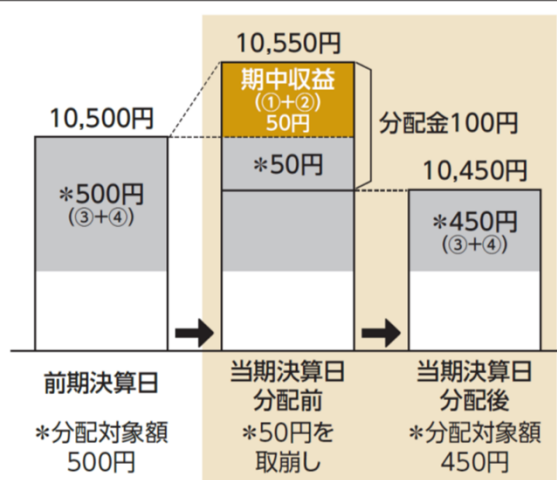
投資信託で分配金が支払われるイメージ



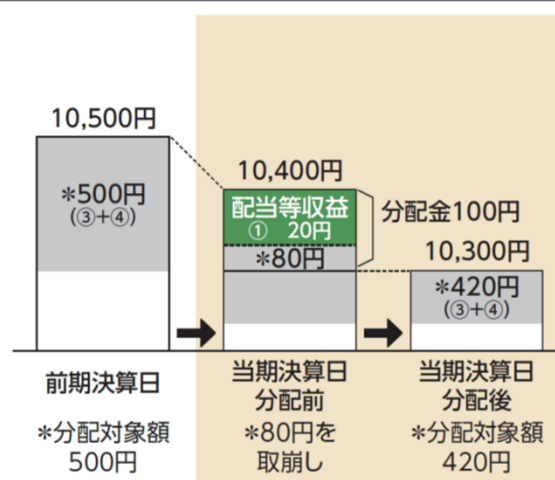
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

普通分配金	
投資者の購入価額 (当初個別元本)	元本払戻金 (特別分配金)
	分配金支払後 基準価額 個別元本

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合

元本払戻金 (特別分配金)	
投資者の購入価額 (当初個別元本)	元本払戻金 (特別分配金)
	分配金支払後 基準価額 個別元本

普通分配金…………… 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)…………… 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。

また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

《当資料のお取り扱いにおけるご注意》

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の 9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ポーレン米国グロース株式ファンド（予想分配金提示型）（愛称：ベストフォーカス（予想分配金提示型））

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
松阪証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第19号	○			
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○			

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。